

## 東 寿子様からのお手紙

東 寿子様は二〇回生東 敦子様のお母上です。町田市つくし野にご長男夫婦とお住まいで、九一歳になられましたがとてもお元気で、地域の老人会のお世話役など務めておられます。このお手紙とともに敦子様が北京公演の際に贈られた立派な硯箱をご寄贈いただきました。昨年の総会の席上ご縁の深かった同期の樺山翠様に贈呈させていただきました。この文章は戦後のグレース幼稚園の土地返還の生々しい記録ですが、なによりも今のご高齢でこれだけの記憶と筆力に感嘆いたします。あやかりたいものと掲載させていただきました。

過日は千里山会誌九号をお送りいただきまして有難うございました。格別厳しいお暑さの中、こんなに素晴らしい会誌の御作成でさぞさぞお疲れ遊ばされましたことと感激しつつ幾たびも拝読させて頂きました。

九号の九九頁軍需産業H社は私の兄久枝俊一が社長の航空機会社「久枝航空工業株式会社」のことです。川西航空の協力工場で飛行機の増産に逐われていましたが、空襲から逃れるため政府命令で工場の移転準備として千里山に（グレース幼稚園を含む）幾万坪か土地を購入し興業銀行が支払ってくれた由です。地上の整理中に敗戦となつて了いました。

工員達退職金皆無でやめて呉れず鍋や釜を造りつつよい平和産業にと考えもつかず、銀行の金利に逐われていたのでグレース幼稚園の再会期保良園長の御申し出があり、三〇〇〇坪を返却した由でした（敦子が三年間お世話を受けた事も有りです）。

あと広い土地利用で豚やアヒルも飼育したりで病死続出苦労続きたった由です。

此の度会誌で在米中の宗美智子様御健在を知りうれしゅう御座いました。樺山翠さん（ミーちゃん）と宗美智子様（ミコちゃん）と敦子幼児期のお友達（近所）で毎日幼稚園にも通つて居た仲間でしたから、敦子存命の間にチャンスが有りましたのにお逢いしなかつた事残念でした。（後略）